

アジア太平洋労働安全衛生大会

(APOSHO35 日本開催)

実施報告書

全ての人のための
持続可能な開発に向けた
安全衛生を考える。

APOSHO 35 JAPAN

Designing OSH
for sustainable development
for all

オンラインによる日本開催決定
**アジア太平洋安全衛生大会
APOSHO35** ※厚生労働省補助対象事業

開催期間
令和3年 **10月27日(水) ~ 28日(木)**

開催方法 開催及び事務局業務方法の詳細はAPOSHO35特設サイト
(<https://www.aposh35.jp/>)で御覧いただけます。

オンライン開催 株式会社、基調講演、分科会等のライブ、オンデマンド配信を予定
サテライト会場 東京国際フォーラム ホールD1 (東京都千代田区丸の内3丁目5番1)

参加費
無料 [要事前登録] (APOSHO35特設サイトにて事前登録)

問合せ先 APOSHO35 日本事務局(技術支援部) | TEL: 03-3452-6297 | E-mail: aposh35@jaiba.or.jp | 主催: 中央労働災害防止協会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2021年10月

中央労働災害防止協会

技術支援部 国際課

開催概要

APOSHO 年次総会は、各国の APOSHO 加盟団体の持ち回りで毎年開催されており、日本での開催は、1988 年(第 4 回)及び 1989 年(第 5 回)から実に 32 年ぶりの開催となる。日本では今回の第 35 回「アジア太平洋労働安全衛生機構年次総会」をより多くの方にご参加いただくよう、名称を「アジア太平洋安全衛生大会」(APOSHO35)として開催した。

なお、本大会を開催するにあたり厚生労働省から多大なる協力をいただき、中央労働災害防止協会の補助事業の一環として実施した。

1. 開催期間

令和 3 年 10 月 27 日(水) 13 時～17 時

令和 3 年 10 月 28 日(木) 13 時～20 時

2. 開催方法

オンライン参加もしくは第 80 回全国産業安全衛生大会(東京)の会場である東京国際フォーラム内の APOSHO35 サテライト会場(ホール D1)におけるライブ配信の視聴。また、開催後、1 か月間のオンデマンド配信の視聴。

注)APOSHO 加盟会員については、当初、オンライン又は現地(東京)参加としていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため現地(東京)参加を中止とし、オンラインのみの参加とした。

3. 参加費

参加費については、2 日間の参加に限り無料

4. 大会テーマ

全ての人のための持続可能な開発に向けた安全衛生を考える

Designing OSH for sustainable development for all

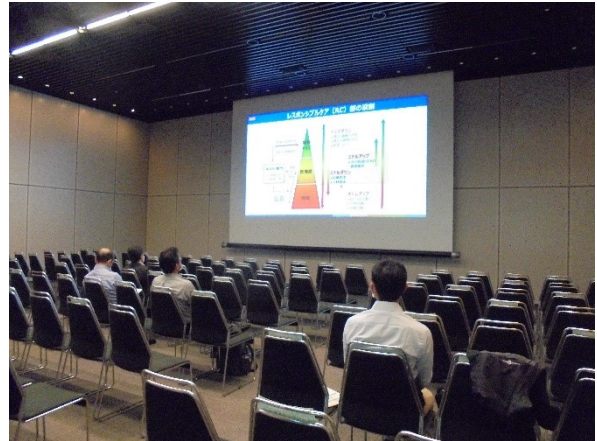
「全ての人のための持続可能な開発に向けた安全衛生を考える。」を本大会のテーマとし、安全衛生に関する情報発信・共同学習・意見交換等を行い、相互理解やネットワーク構築を図り、アジア地域及び参加各国、企業の労働安全衛生水準の向上を目指した。

5. 併催

第 80 回全国産業安全衛生大会(東京) 緑十字展 2021

6. サテライト会場

東京国際フォーラム(ホール D)にサテライト会場を設けた。
(住所:東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)



7. 配信会場

女性就業支援センターホール

(住所:東京都港区芝5-35-3 女性就業支援センター4階)



8. 日本開催事務局

中央労働災害防止協会 技術支援部 国際課

(住所:東京都港区芝5-35-2 安全衛生総合会館6階)

電話 03-3452-6297 メール aposho35@jisha.or.jp

担当 住 潔(技術支援部次長) 高井 喜子(国際課係長)

9. プログラム

大会 1 日目 10 月 27 日 (水) 13 時 00 分～17 時 00 分

13 時 00 分～13 時 15 分

アトラクション 「日本の大衆芸能 日英によるチンドンパフォーマンス」

鐘を「チン」と鳴らして、太鼓を「ドン」と叩くことから「チンドン」と呼ばれている日本の大衆芸能。チンドン芸能社代表の永田久氏らによる、日英のチンドンパフォーマンスをお楽しみ下さい。



13 時 15 分～13 時 25 分

開会挨拶

中央労働災害防止協会
理事長

竹越 徹

アジア太平洋労働安全衛生機構 (APOSHO)
事務局長

バーニー・ドイル氏

13 時 25 分～13 時 45 分

基調講演 「日本の労働安全衛生行政の最近の動向」

厚生労働省労働基準局

13 時 45 分～14 時 15 分

特別講演 「日本の安全文化：現状と未来への展望」

「日本の安全文化とは何か？」 あらためてその特徴や海外の安全文化との相違点についてもふれながら、安全文化の必要性や今後日本及び世界の安全文化がどのように変わっていくべきかお話をいただきます。



新潟大学
工学部協創経営プログラム/
大学院自然科学研究科
材料生産システム専攻
社会システム工学コース

准教授

とうせ あきら

東瀬 朗氏

14 時 15 分～14 時 45 分

特別講演 「ILO によるアジアにおける安全衛生の取組み」

成長著しいアジアを中心とした国々における ILO (国際労働機関) の安全衛生分野の活動について、職場におけるコロナ対策も含めご紹介いただきます。



ILO (国際労働機関)
南アジアディーセントワーク
技術支援チーム労働安全衛生・
労働監督上級専門家

川上 剛氏

14 時 45 分～15 時 05 分

特別発表 「石巻市～東日本大震災の時とその後の復興（語り部）」

2011 年 3 月 11 日に発生した日本周辺における観測史上最大の東日本大震災から本年は 10 年目を迎えます。当時、自ら宮城県石巻市で被災した英国出身のリチャード・ハルパーシュタット氏の語り部（英語）により、東日本大震災の時とその後の石巻市の復興についてお話いただき、自然災害の恐ろしさや危機管理の重要性について多くの方々に学んでいただきます。



石巻市復興まちづくり
情報交流館中央館館長

リチャード・
ハルパーシュタット氏

15 時 15 分～17 時 00 分 技術発表（第一部）

演題	発表者
 “どのチョコレートが一番？” ～多様な職場のメンタルヘルス問題にいかに対応するか～	BuildUp Research and Interactive Training Services 社 (オーストラリア) 代表取締役 Marilyn Hubner 氏
 若者の安全意識の構築に向けて	香港職業安全健康局 (HKOSHC) 専務理事 Bonnie Yau 氏

APOSHO 加盟団体プロモーション動画上映

注) 基調講演「日本の労働安全衛生行政の最近の動向」については、厚生労働省労働基準局安全衛生部計画課調査官 長山隆志様にご講演をいただいた。

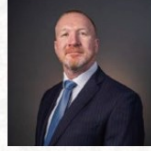
🌐 技術発表（ゲストスピーカー） 10月28日（木）

13時30分～14時00分



働く未来への8つのトレンド
 -安全衛生のリーダーが知っておくべきこと-
 アメリカ安全評議会（NSC）
 ソートリーダーシップ次長
 キャンベルインスティテュート部長
John Dony 氏

16時45分～17時15分



あなたの職場の安全衛生は大丈夫？
 -コロナ禍の安全衛生専門家の重要な役割-
 英国労働安全衛生協会（IOSH）
 理事長
James Quinn 氏

🌐 大会2日目 10月28日（木） 13時00分～19時50分

13時00分～16時30分 技術発表（第二部）

演題	発表者
住友化学グループにおける災害防止の取り組み	住友化学㈱ レスポンシブルケア部（保安・安全） 主席部長 永岡 真一 氏
【ゲストプレゼンテーション】 働く未来への8つのトレンド -安全衛生のリーダーが知っておくべきこと-	アメリカ安全評議会（NSC） ソートリーダーシップ次長 キャンベルインスティテュート部長 John Dony 氏
韓国の職場におけるコロナ対策	韓国産業安全保健公団（KOSHA） マネージャー Yoon-jung Choi 氏
香港で安全衛生を提唱する	香港労働安全衛生協会（IOSH-HK）設立責任者 チャータードフェロー（CF） Andy LO 氏
トヨタ自動車での安全文化構築と グローバル自立化推進の取り組み	トヨタ自動車㈱ 安全健康推進部 安全衛生支援室 安全1グループ長 石川 裕亮 氏
化学工場の爆発事故から学ぶ	国立雲林科技大学 環境安全衛生学部 教授 中華民國工業安全衛生協会（ISHA）専務理事 Chi-Min Shu 氏
コマツにおけるメンタルヘルス対策 ～OSHMSを利用した持続的な取り組み～	㈱コマツ 健康増進センタ 産業医 平岡 晃 氏

16時45分～19時50分 技術発表（第三部）

演題	発表者
【ゲストプレゼンテーション】 あなたの職場の安全衛生は大丈夫？ -コロナ禍の安全衛生専門家の重要な役割-	英国労働安全衛生協会（IOSH） 理事長 James Quinn 氏
タイの中小企業に向けた持続可能な安全文化と ビジョン・ゼロ	タイ職場安全衛生推進協会（SHAWPAT） 理事長 Chalermchai Chaikittiporn 氏、Dheera Phong-anant 氏
ISO45001 を組み入れた日本独自の OSHMS 規格の紹介	中央労働災害防止協会 安全衛生マネジメントシステム 審査センター所長 斉藤 信吾 氏
「ドローン」、建設現場における新たな現場確認ツール	国立労働安全衛生研究所（NIOOSH）（マレーシア） エグゼクティブ Mohamad Hanafi Ali 氏
ベトナム中部における採掘、 石材加工現場におけるシリカ汚染の現状	ベトナム国立労働安全衛生研究所（VNNIOOSH） リサーチャー Thanh Trung Nguyen 氏

🌐 オンデマンド配信（大会期間中から1ヶ月程度） ※大会期間中のプログラムと併せてオンデマンド配信しますが、
下記の発表は英語のみとなります。

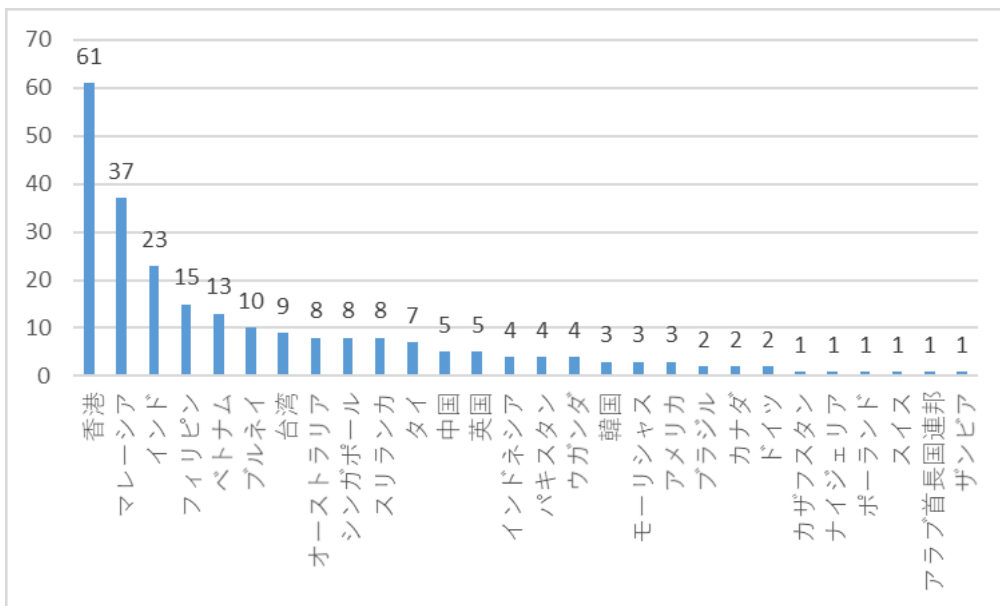
演題	発表者	演題	発表者
安全文化における “ROC Talk-Risk & Opportunity Conversations”	APOSHO 名誉会員 （オーストラリア） Jim Whiting 氏	デスクワークと QOL （生活の質）	マレーシアアブトラ大学 講師 Irniza Rasdi 氏
マレーシアの製造業における 高齢労働者の安全衛生状況 の分析	国立労働安全衛生研究所（NIOOSH） （マレーシア）エグゼクティブ Siti Faeza Yani Jumat 氏	ステイクホルダーの リーダーシップによる 建設安全パフォーマンス	香港理工大学 プロジェクトアシスタント Yuk Ling Chung 氏
香港における革新的な 安全装置を用いた中小企業向け 安全衛生活動支援	香港職業安全健康局（HKOSH） 主席コンサルタント Winson Yeung 氏	大規模災害防止のための 安全衛生に関わる 全般的な概要	国立労働安全衛生協会 （MSOSH）（マレーシア） MD Idris Salim 氏
誘惑とメンタルヘルス	Corporate Lingua 社 （マレーシア） 代表取締役 R.Baskran Nair 氏	【ゲストプレゼンテーション】 経済成長のツールとしての 安全衛生	アフリカ労働安全衛生財団 （ナイジェリア） 理事長 Ehi Iden 氏

10. 参加登録者数

全体参加者 701 名

(国内参加者 459 名 + 海外参加者 242 名)

海外参加国内訳(28 カ国)(参加延人数)



(注 1) 以下は海外参加者数に含まれる。

APOSHO 加盟団体数(海外)・・・ 20 団体

APOSHO 名誉会員数(海外)・・・ 6 名

(注 2) 上記の数には、サテライト会場における視聴者及び複数名による同時視聴者の数は含まれない。

11. 広報媒体(制作物)(P10 以降に写真を掲載)

- ・ウェブサイト(日本語・英語)
- ・リーフレット(Pre-Announcement)(日本語)
- ・リーフレット(First Announcement)(日本語・英語)
- ・リーフレット(Second Announcement)(日本語・英語)
- ・プログラム(日本語・英語)
- ・ポスター(日本語・英語)

12. アンケート結果

下記のとおり、国内(日本)と海外に分けてオンラインアンケートを実施した。

回答数

国内(日本) 64 件(回答率 14%)

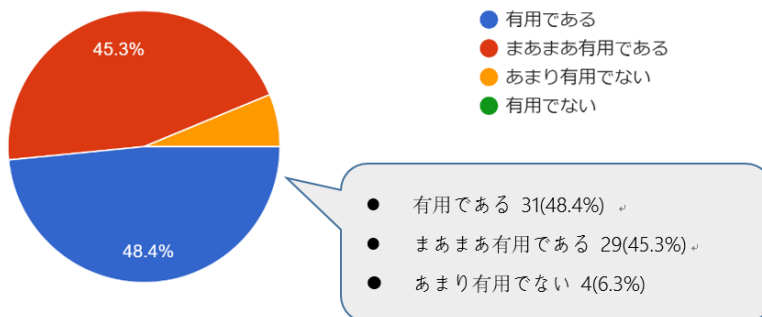
海外 63 件(回答率 26%)

アンケート結果(一部)

国内(日本)

5) APOSHO35に参加した感想をお聞かせ下さい(複数選択可)。

64 件の回答

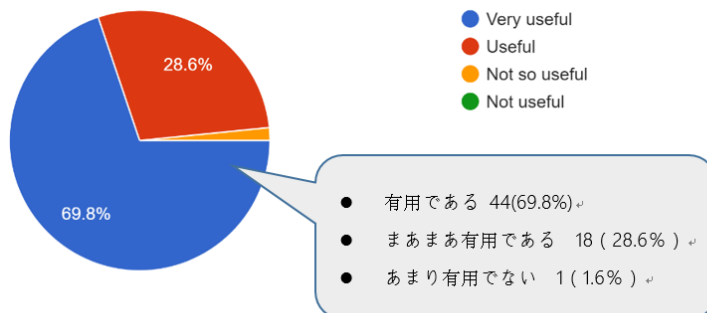


海外

5) What did you think about APOSHO35?

63 件の回答

APOSHO35に参加した感想をお聞かせください。



13. 運営委託業者

株式会社 コンベンション リンケージ

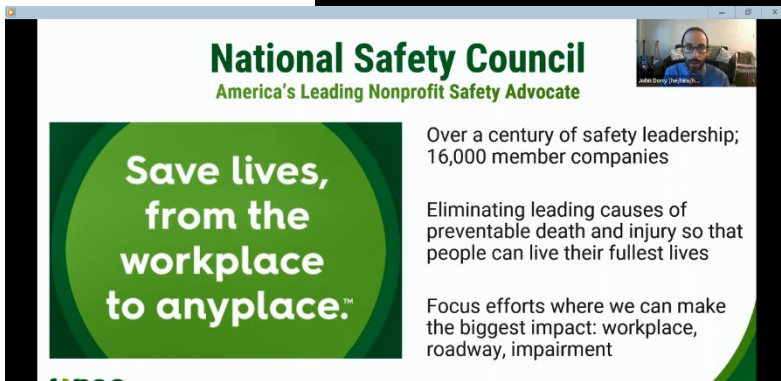
(住所:東京都千代田区三番町 2)

14. 配信中の画面(一部)

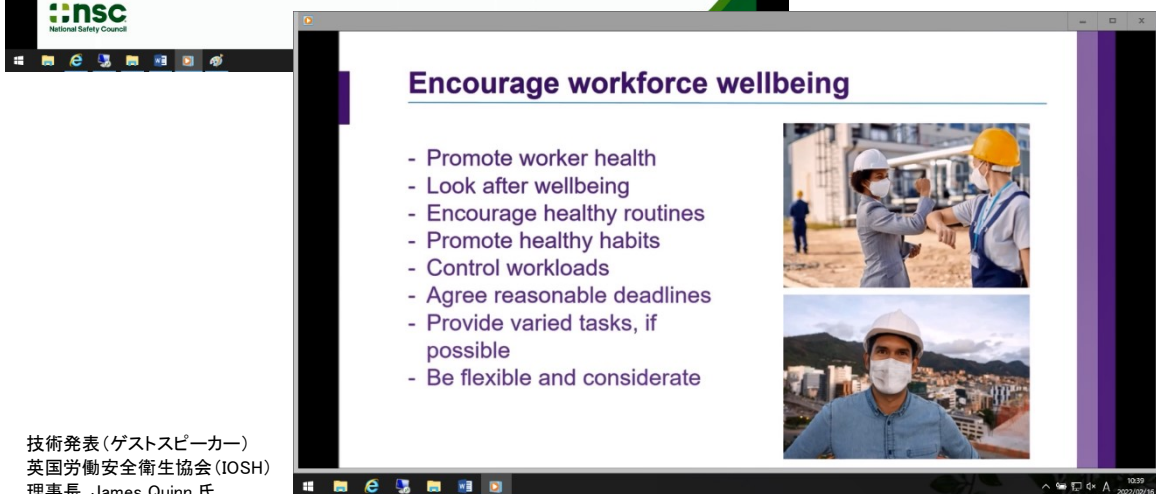


開会挨拶
中央労働災害防止協会
理事長 竹越 徹

特別講演
ILO(国際労働機関)
労働安全衛生・労働監督上級専門家
川上 剛 氏



技術発表(ゲストスピーカー)
アメリカ安全評議会(NSC)
ソートリーダーシップ次長
John Dony 氏



技術発表(ゲストスピーカー)
英国労働安全衛生協会(IOSH)
理事長 James Quinn 氏

事故のタイプの変化

- 安全管理システム及び防護・軽減策の導入と自動化が進むと、事故の性質が変わる
- ハインリッヒの法則 v s スイスチーズモデル
 - 軽微な事故・災害は防護・軽減策（深層防護）で防がれる（無意識のうちに防がれていることも）
 - 重大災害になりうる事故であっても、防護・軽減策により軽減され、一見軽微「に見える」事故災害になることもある
 - 重大災害の直前に、軽微な事故・災害が増えることもある（防護の大幅な機能低下）

防護, バリア, 安全措置の各層層にできた穴を突き抜けて潜在的な危険が損害へと発展する

©2010-2021 Akira TOSE
Faculty of Engineering, Niigata University 7

特別講演
新潟大学
工学部 准教授
東瀬 朗 氏

Reconstruction Projects in Ishinomaki

3 Designation of tsunami evacuation buildings, construction of tsunami evacuation towers

Tsunami evacuation tower

Tsunami evacuation building

特別講演
石巻市復興まちづくり情報交流館
中央館館長
リチャード・ハルバーシュタット 氏

Unwrapping Today's Box

- Introduction to research
- The state of mental (ill) health in the construction industry
- Common interventions
- Outside the construction industry
- Recommendations

技術発表
BuildUp Research and Interactive
Training Services 社(オーストラリア)
代表取締役
Marilyn Hubner 氏

Interactive, Fun Filled Workshops

www.oshc.org.hk

技術発表
香港職業安全健康局
専務理事
Bonnie Yau 氏

ウェブサイト(日本語)



APOSHO35 アジア太平洋安全衛生大会

(厚生労働省補助対象事業)

APOSHO35は令和3年12月20日(月)を持ちまして、全てのプログラムが終了いたしました。
多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。
中災防は今後ともアジア地域における安全衛生活動の促進に寄与して参ります。

開催期間・参加方法

令和3年10月27日(水)～28日(木)
(オンライン参加・視聴無料) (※事前登録)
(APOSHO加盟会員はオンライン又は現地(東京)参加を予定)

[APOSHO35 リーフレットはこちら](#)

併催

[第80回全国産業安全衛生大会\(東京\)](#)
[緑十字展2021](#)

開催方法

オンライン参加もしくは第80回全国産業安全衛生大会(東京)の会場である東京国際フォーラム内のAPOSHO35サテライト会場(ホールD1)におけるライブ中継の視聴。
また、開催後、1か月間のオンデマンド配信の視聴。

サテライト会場案内(東京国際フォーラム)
住所: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
代表電話: 03-5221-9000

大会テーマ

「全ての人のための持続可能な開発に向けた安全衛生を考える。」を本大会のテーマとし、安全衛生に関する情報発信・共同学習・意見交換等を行い、相互理解やネットワーク構築を図り、アジア地域及び参加各国、企業の労働安全衛生水準の向上を目指します。

サテライト会場へのアクセス



リーフレット(Pre-Announcement) (日本語)

First Announcement for APOSHO36



アジア太平洋地域の安全衛生団体が集結！ 「APOSHO」年次会議 32年ぶりに日本で開催

中央労働災害防止協会は、アジア太平洋地域の労働安全衛生団体が加盟する「アジア太平洋労働安全衛生機構」(APOSHO: Asia Pacific Occupational Safety and Health Organization)の年次会議を、2021年に日本で開催します。日本での開催は1989年以来32年ぶりとなります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。





What's APOSHO? (APOSHOの組織、年次会議について)

APOSHOは、1985年に設立されたアジア太平洋地域の非営利の労働安全衛生団体を正会員とする組織で、日本からは中災防が参画しています。加盟国・地域は、中国、香港、台湾、韓国、インド、インドネシア、マレーシア、モリシャス、タイ、フィリピン、ベトナム、シンガポール、オーストラリアの27団体が正会員として、またアメリカ、ドイツ、イギリスなどの団体が準会員・関係団体として加入しています。

年次会議の会期は4日間で、1日目の専門委員会および4日目の年次総会はAPOSHO会員のみが対象。2日目と3日目の基調講演、分科会における研究発表、保理員等の安全衛生用品の展示会については一般企業なども参加できます(参加費有料)。参加者数は250人(会員100人、一般150人)程度を見込んでいます。

The best part of the Congress (APOSHO年次会議への参加のメリット等について)

- ✓ APOSHOの全体集会や分科会では、各国・地域の最新の安全衛生情報入手できます。
- ✓ 各国・地域の安全衛生団体等と情報交流することができます。
- ✓ 日系企業の安全衛生担当者間のネットワークづくりの場となります。
- ✓ APOSHOの展示会では、日本の安全衛生技術を紹介する絶好の場となります。
- ✓ 日本語と英語の通訳が付きますので、どなたでもご参加できます(年次会議)。

What's Next? (APOSHO日本開催の今後の新たな情報について)

開催日程、開催場所、参加登録料、参加方法等の新たな情報につきましては、今後、中災防ウェブサイト等で随時発表いたします。

JISHA 日本開催事務局：中央労働災害防止協会 技術支援部国際センター 東(あずま)、住(すみ)、六井(あない)
電話：03(3452)6297 FAX: 03(3454)4596 E-mail: trajisha@jisha.or.jp

3rd Announcement for APOSHO36



「APOSHO」年次会議 が2021年10月の 全国産業安全衛生大会(東京大会)と同時開催！

中央労働災害防止協会は、アジア太平洋地域の労働安全衛生団体が加盟する「アジア太平洋労働安全衛生機構」(APOSHO: Asia Pacific Occupational Safety and Health Organization)の年次会議(APOSHO36)を全国産業安全衛生大会(東京大会)に併せて、2021年10月26日(火)～29日(金)に開催することとしました。

Pictures in APOSHO33 *写真は、約300名が参加し、昨年11月に香港で開催されたAPOSHO33会場の様子




What's APOSHO?

APOSHOは、1985年に設立されたアジア太平洋地域の非営利の労働安全衛生団体を正会員とする組織で、日本からは中災防が参画しています。加盟国・地域は、日本、中国、香港、台湾、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、インド、モリシャス、オーストラリアの27団体が正会員、アメリカ、ドイツ、イギリスなどの団体が準会員として加入しています。

APOSHO年次会議の会期は4日間で、10月26日(火)の専門委員会及び10月29日(金)の年次総会はAPOSHO会員のみが対象。10月27日(水)～10月29日(金)の全国大会の国際分科会を兼ねたAPOSHO全体集会(基調講演)及び分科会(技術発表)については、全国大会の一般参加者も自由に参加することができます(一部日英同時通訳付き)。

The best part of the Congress

- ✓ APOSHOの全体集会では、各国・地域の最新の安全衛生情報入手できます。
- ✓ 各国・地域の安全衛生団体等と情報交流することができます。
- ✓ 日系企業の安全衛生担当者間のネットワークづくりの場となります。
- ✓ 日本語と英語の通訳が付きますので、大会参加者はどなたでもご参加できます。
- ✓ 緑十字展が海外からの出席者に日本の安全衛生技術を紹介する絶好の場となります。

What's Next?

開催プログラム等の新たな情報につきましては、今後、中災防ウェブサイト等で随時発表します。

JISHA 日本開催事務局：中央労働災害防止協会 技術支援部国際センター
電話：03(3452)6297 FAX: 03(3454)4596 E-mail: trajisha@jisha.or.jp

リーフレット(First Announcement) (日本語)



APOSH 35

日本では32年ぶりの開催！
**アジア太平洋
安全衛生大会**

APOSHO (アジア太平洋労働安全衛生機構)
年次コンファレンス

2021年(令和3年)10月27日(水)～29日(金)

会場：東京国際フォーラム(予定)
(東京都千代田区丸の内)

APOSHOとは？

APOSHOとは「アジア太平洋労働安全衛生機構」(Asia Pacific Occupational Safety and Health Organization)の略称で、1985年に設立されたアジア太平洋地域の非営利の労働安全衛生団体を正会員とする組織です。

日本、中国、香港、台湾、韓国、インドネシア、マレーシア、パキスタン、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、インド、スリランカ、オーストラリア、モロシヤスの20団体が正会員、アメリカ、ドイツ、イギリスなどの団体が関係団体等として加盟しており、日本からは中災防が参加しています(裏面参照)。

日本開催のコンセプト

「全ての人のための持続可能な開発に向けた安全衛生を考える。」をテーマに、本コンファレンスでは、アジア各国の安全衛生団体や企業が一堂に集って、情報発信・共同学習・意見交換・国際交流等を行い、相互理解やネットワーク構築を図り、アジア地域及び参加各国、企業の労働安全衛生水準の向上を目指します。また、それにより持続可能な開発目標(SDGs)が謳う、あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進します。

同時開催
第80回全国産業安全衛生大会(東京)
緑十字展2021～働く人の安心づくり～



APOSHO加盟団体(2019年11月1日現在)

(正会員)	オーストラリア国家安全評議会(NSCA)	フィリピン労働安全健康連合(WASPI)
オーストラリア災害防止基金(IFAP)	シンガポール国家安全評議会(NSCS)	シンガポール安全管理者協会(SISO)
中国職業安全健康協会(COSHA)	スリランカ労働安全衛生協会(WSHA)	タイ労働安全衛生促進協会(SHAMPAT)
中国安全生産協会(CAWS)	ベトナム国立労働安全衛生研究所(VNOSH)	ベトナム労働安全衛生協会(VOSHA)
中国中興集団武漢安全健康環境保護研究院(SEPR)	(関係団体)	
香港職業安全衛生協会(HKOSHA)	ブルネイ労働者連防庁(ABCI)	
香港職業安全健康局(HKOSHQ)	マカオ労働局(LAB)	
香港労働安全衛生協会(HKOSH-HK)	(関係団体)	
中華民国工業安全衛生協会(ISHA)	ドゥボン産業保健局(DGUV)	
インド国家安全評議会(NSCI)	労働安全衛生作業連合協会(SOSHWE、インドネシア)	
インドネシア労働安全衛生評議会(NSHQ)	安全衛生環境マニファクトリ研究所(BSHEM、モロシヤス)	
労働安全衛生能力認定研究所(ICOSH、インドネシア)	労働安全衛生協会(DOSH、イギリス)	
中央労働災害防止協会(JRSHA)	アジア安全技術者協会(ASST)	
韓国産業安全保健公団(KOSHA)	認定安全専門家評議会(GOSP、アメリカ)	
韓国産業安全協会(KISA)	アメリカ安全評議会(NSC)	
マレーシア労働安全衛生協会(MSOSH)	世界安全機構(WSO、アメリカ)	
国立労働安全衛生研究所(NIOSH、マレーシア)		
マレーシア労働安全衛生専門家協会(MOSHPPA)		
労働安全衛生マニファクトリ協会(IOSH、モロシヤス)		
パキスタン安全協会(PSO)		
フィリピン安全協会(SOPF)		
フィリピン安全管理者協会(APPP)		

(正会員20団体 関係団体8団体 関係団体8団体)

今後のスケジュール

今後の具体的なスケジュールや申込方法については決定後、中国語ウェブサイトAPOSHO35 開催のページ(<https://www.johs.or.jp/international/>)に掲載されます。

APOSHO35ロゴマークについて

日本の「働き方改革」がテーマ、安全の取組も目立ちます。また、自然や社会との調和を重視しています。また、安全衛生分野における日本の国際的貢献が世界各地域でも活用され、相互に交流が行われる機会を捉えて表現されています。

ごあいさつ



中央労働災害防止協会 理事長
八牧 暢行

中央労働災害防止協会(中災防)は、日本を代表する労働災害防止団体として、「アジア太平洋労働安全衛生機構(APOSHO)」に加盟し、長年にわたって、その活動に参加しています。

今般、同機構の年次コンファレンス(第35回)の2021年(令和3年)10月東京開催を相務しました。また、その意義を一段と高めるとともに、多数の参加者による盛況を期して、中災防が主催する「全国産業安全衛生大会・緑十字展(東京大会)」と同時に開催することになりました。

このコンファレンスでは、アジア太平洋地域の主要各国の一部の欧米諸国を加えた11か国・地域の加盟20団体が一堂に集し、3日間にわたって「最新情報の提供」、「加盟団体との交流・意見交換」、「日系企業間のネットワークづくり」等を目指します。

また、全国産業安全衛生大会・緑十字展との同時開催により、日本とアジア太平洋諸国との労働安全衛生活動のいわば「橋渡し」することも企図しています。このコンファレンスの東京開催を主催する中災防としては、日本の労働安全衛生や災害防止に関わる行政・学会・関連団体のみならず、アジア太平洋地域で事業を展開されている産業界・企業の皆様にも広く参加のお声掛けをさせていただきます。アジア太平洋地域及び日本の労働災害の防止に大きく貢献するコンファレンスを企図してまいります。

多くの皆様のご参加とご支援・ご後援・ご協賛をよろしくお願い申し上げます。

2021年の第35回アジア太平洋労働安全衛生機構年次コンファレンス(APOSHO35)

を日本(東京)で開催します。大変喜ばしく思いますが、日本での開催を相務され、その企画・準備にご協力下さる中央労働災害防止協会(中災防)に深甚な感謝を申し上げます。

日本の労働安全衛生活動は、国や中災防の牽引と関連団体・産業界・企業の地道なご努力によって、世界でも先駆的に取り組まれ、労働災害の減少など、大きな実績を上げてこられました。また、それらの活動の紹介や交流などを通して、APOSHOの発展に多大な貢献を果たしてこられました。衷心より敬意を表します。

このコンファレンスと同時に開催される全国産業安全衛生大会には1万人超が参加され、職者のご講演や2020を超える企業・事業場からの事例発表が行われると伺っています。また、緑十字展には、2万人超が参加され、最新の安全衛生保険員の展示・紹介などが行われると伺っています。このようなスケールの大きな集いの同時開催により、その熱量や盛り上がりを感じながらコンファレンスを開催できることに、これまでにない魅力と期待を感じています。

そして、日本の多くの皆様がこのコンファレンスに参加していただき、アジア太平洋地域及び日本の労働安全衛生活動の向上と労働災害の防止・削減に大きく貢献してまいりたいとの思いを新たにしています。

参加のメリット

- アジア各国・地域の最新の安全衛生情報の入手
- アジア各国・地域の安全衛生団体と情報交流
- 日系企業の安全衛生担当者間のネットワークづくりの促進
- 日本企業・現地日系企業等の労働災害の削減に貢献



協賛金・寄付金のお願い

協賛金・寄付金につきましては、今後、企業等の皆様にお断りさせていただきます。ご協賛をさせていただきます。下記のとおりです。



APOSHO35(中国)の協賛企業ロゴ

スケジュール

分科会テーマ例

- ISO45001・JIS Q 45100の動向
- ゼロ運動・オンラインへの取組み
- メンタルヘルス・組織づくりへの取組み
- 高年齢労働者対策
- 若年労働者への安全衛生教育
- 化学物質の取扱い
- AI-IoTを活用した安全衛生対策
- 外国人労働者対策
- 安全文化の醸成等

(今後、国内外から一般発表を募集する予定です。)

開催スケジュール(2021年)

日程・時間	AM	PM
10/27(水)	【APOSHO大会】開会式・基調講演 緑十字展	【APOSHO大会】閉会式・緑十字展
10/28(木)	【APOSHO大会】海外及び日本からの技術発表 分科会・緑十字展	【APOSHO大会】海外及び日本からの技術発表 分科会・緑十字展
10/29(金)	【APOSHO大会】海外及び日本からの技術発表 分科会・緑十字展	【APOSHO大会】海外及び日本からの技術発表 分科会・緑十字展

※同時進行発表 ※一部同時進行あり

リーフレット(Second Announcement)(日本語)

APOSHO加盟団体

(MEMBER LIST)

正会員

オーストラリア全国安全評議会 (NSGA) オーストラリア災害防止基金 (IFAF) 中国職業安全健康協会 (COSH) 中国安全協会 (CAMS) 中国中興後進工業安全健康保護研究所 (SEPHO) 香港職業安全衛生協会 (HKOSHA) 香港職業安全健康局 (HKOSH) 香港労働安全衛生協会 (HOSHAHK) 中華全国工業安全衛生協会 (CISA) インド全業安全評議会 (NSIC) インドネシア全業安全衛生評議会 (NSHGO) 労働安全衛生学術研究所 (OOSH: インドネシア) 中央労働災害防止協会 (JSHA) 韓国産業安全健康協会 (KOSHA) 韓国産業安全協会 (KISA)	マレーシア労働安全衛生協会 (MOSOSH) 国立労働安全衛生学術研究所 (NOSH: マレーシア) マレーシア労働安全衛生専門家協会 (MOSHMPA) 労働安全衛生マナー・プラント協会 (IOSHM: モーリシャス) パキスタン安全協会 (PSO) フリビーン安全協会 (SOPF) フリビーン安全管理者協会 (ASPPF) フリビーン安全推進協会 (NSAPF) シンガポール全業安全評議会 (NSCS) シンガポール安全管理者協会 (SSSO) スリランカ労働安全衛生協会 (KISHA) タイ労働安全衛生保護協会 (SHANPAT) ベトナム国立労働安全衛生学術研究所 (VNOSOSH) ベトナム労働安全衛生協会 (VOSH)
---	--

準会員

ブルネイ労働災害防止協会 (ABDO)	マダガスカル (LAE)
---------------------	--------------

関係団体

ドイツ職業安全健康 (DGUV) 労働安全衛生作業環境協会 (SOSHNE: インドネシア) 労働安全衛生マナー・プラント研究所 (ISHM: モーリシャス) 労働安全衛生協会 (IOSH: イギリス)	アメリカ安全技術者協会 (ASSP) 認定安全専門家協会 (BCSP: アメリカ) アメリカ安全評議会 (NSC) 安全協会機構 (ISO: アメリカ)
--	---

(正会員 29団体 準会員 2団体 関係団体 4団体)

全ての人のための
持続可能な開発に向けた
安全衛生を考える。

APOSHO 35
JAPAN

Designing OSH
for sustainable development
for all

オンラインによる日本開催決定
アジア太平洋安全衛生大会
APOSHO 35

*厚生労働省特設ページ

開催期間

令和 5年 10月27日(水) ~ 28日(木)

開催方法

オンライン開催 国会議事堂、国会議事堂のライブ・オンデマンド配信
オナライト会場 東京国際フォーラムホールD1 (東京都千代田区丸の内1丁目)

第40回全国産業安全衛生大会(東京)
緑十字展2021と同開催

参加費

無料 [更事前登録] (APOSHO会員も無料(オンラインのみ))

お問い合わせ

APOSHO35 日本開催事務局 | 中央労働災害防止協会 技術支援課国際課
TEL 03-3452-8297
MAIL apo35@35jsh.jp

主催 中央労働災害防止協会

大会主催者からのご挨拶

中央労働災害防止協会
理事長
八牧 博行

本大会では、アジア太平洋地域の主要各国に一度の欧米諸国を加えた21か国・地域の加盟39団体の参加のもと、新型コロナウイルス感染症防止対策としてオンラインで、2日間にわたって基調講演や技術発表等が行われます。そして、これらを通じて、参加国・地域における労働安全衛生分野における情報交流と同地域の労働災害の撲滅を目指します。

また、その意義を一段と高めるとともに、第80回を迎える「全国産業安全衛生大会(東京大会)」及び「緑十字展」(共にハイブリッド開催)と同時に開催されます。日本の労働安全衛生や災害防止に関わる行政・学会・関連団体のみならず、アジア太平洋地域で事業を展開されている企業・企業の参加により、アジア太平洋地域及び日本の労働災害の防止に大きく貢献することが期待されます。多くの皆様のご参加をよりお願いいたします。

APOSHO事務局長からのご挨拶

APOSHO 事務局長
バーニー・ドイル

2021年の第35回アジア太平洋労働安全衛生機構年次総会(APOSHO35)が日本を事務局として10月に開催されます。歴史ある全国産業安全衛生大会と緑十字展の同時開催により、オンラインでありながらもその熱意や盛り上がりを感じながらAPOSHO35を開催できることに、これまでない魅力と期待を感じています。日本の多くの皆様がこのAPOSHO35に参加していただき、アジア太平洋地域及び日本の労働安全衛生活動の向上と労働災害の防止・削減に大きく貢献していただきたいです。

開催コンセプト

- ・アジア各国の労働安全衛生団体の参加のもと、情報発信・見聞交換・意見交換等を実施
- ・アジア各国・地域の最新の労働安全衛生情報入手
- ・アジア地域及び参加各国、企業の労働安全衛生水準の向上
- ・持続可能な開発目標(SDGs)達成に貢献

3 健康と福祉

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがい、経済成長、雇用

12 つくばいばい

17 持続可能な開発のためのパートナーシップ

開催スケジュール

オンライン参加もしくはサテライト会場(東京国際フォーラムホールD1)にてオンライン中継の観覧

日 時	プログラム	
令和5年 10月27日 (16時)	APOSHO 開会式、基調講演等(同時通訳)	
令和5年 10月28日 (19時)	技術発表(同時通訳) (議院内閣から労働安全衛生に関する質問を予定。 なお、議院内閣からの一般発表の発表はございません。)	

今後の具体的なスケジュールや参加登録方法等については決定次第、APOSHO特設サイト(https://www.apo35.jp/)に掲載されます。

リーフレット(Second Announcement) (英語)

APOSHO Members (as of November 1, 2021)

Full Members

National Safety Council of Australia (NSCA)	Malaysian Society for Occupational Safety & Health (MSOSH)
National Foundation for Accident Prevention (NFAP)	National Institute of Occupational Safety & Health (NIOSH Malaysia)
China Occupational Safety and Health Association (COSHA)	Malaysian Occupational Safety and Health Practitioners' Association (MOSHPA)
China Association of Work Safety (CAWS)	Institution of Occupational Safety & Health Management (IOSHM, Mauritius)
Shenzhen Safety and Environmental Protection Research Institute (SEPRI)	Pakistan Safety Council (PSC)
Hong Kong Occupational Safety and Health Association (HKOSH)	Safety Organisation of the Philippines, Inc. (SOPFI)
Hong Kong Occupational Safety and Health Council (HKOSH-C)	Association of Safety Practitioners of the Philippines, Inc. (ASPPFI)
Institution of Occupational Safety and Health, Hong Kong (IOSH-HK)	Workplaces Advocates on Safety in the Philippines, Inc. (WASPHI)
Chinese Taipei Industrial Safety and Health Association (TSHA)	National Safety Council of Singapore (NSCS)
National Safety Council of India (NSCI)	Singapore Institution of Safety Officers (SISO)
National Safety and Health Council of Indonesia (NSHC)	Workplaces Safety and Health Association (WSHA)
Institute for Certification of Competencies on OSH (ICCOSS, Indonesia)	The Safety and Health at Work Promotion Association (SHAHPWA)
Japan Industrial Safety and Health Association (JISHA)	Viet Nam National Institute of Occupational Safety and Health (VNNIOSH)
Korea Occupational Safety and Health Agency (KOSHA)	Vietnam Occupational Safety and Health Association (VOSHA)
Korea Industrial Safety Association (KISA)	

Associate Members

National Safety Council of Australia (NSCA)	Malaysian Society for Occupational Safety & Health (MSOSH)
---	--

Affiliate Members

German Social Accident Insurance (DGUV)	The American Society of Safety Professionals (ASSP)
Society for Occupational Safety & Health and Work Environment (SOSHAWE, Indonesia)	Board of Certified Safety Professionals (BCSP, U.S.A.)
Society for Occupational Safety & Health and Work Environment (SOSHAWE, Indonesia)	National Safety Council (NSC, U.S.A.)
Institute of Safety Health and Environment Management (IOSHEM, Mauritius)	World Safety Organization (WSO, U.S.A.)
The Institute of Occupational Safety & Health (IOSH, England)	(29 full members, 2 associate members, 8 affiliate members)



Designing OSH
for sustainable development
for all

APOSHO 35 JAPAN

**APOSHO35
ANNUAL CONFERENCE
OCTOBER 27-28, 2021**

Formats
Opening Ceremony, Plenary Session, Technical Session, will be available online and on-demand.
Details on the formats and advance registration will be announced on the APOSHO35 website.

Registration Fees
Free to participate (including APOSHO members and advance registration required)
APOSHO35 Secretariat
Japan Industrial Safety & Health Association (JISHA)
TEL +81-3-3465-6287 | E-mail: aposhoh35@jish.or.jp

<https://www.aposhoh35.jp/en>



Welcome Message from the Organizer



Nobuyuki Yamaki
President,
Japan Industrial Safety and Health Association (JISHA)

APOSHO35 will feature keynote speeches and technical presentation presented over a period of two days with the participation of 39 member organizations from 21 countries and regions, including key nations from the Asia-Pacific region and several countries from Europe and the U.S. Through this conference, we aim to exchange information in the field of occupational safety and health in participating countries and regions and to eradicate occupational accidents in these regions. With the participation of government agencies, academic societies and related organizations engaged in occupational safety and health and accident prevention in Japan, as well as industries and companies that are operating in the Asia-Pacific region, APOSHO35 is expected to contribute substantially to preventing occupational accidents both in the Asia-Pacific region and Japan. We look forward to welcoming many of you to this year's conference.

Overview of APOSHO35

About APOSHO

Established as an international body in 1985 to promote activities and exchange information in the field of safety and health in the Asia-Pacific region, the Asia Pacific Occupational Safety and Health Organization (APOSHO) is composed of non-profit, professional occupational safety and health organizations.

Full membership in APOSHO has been given to 29 organizations from Japan, China, Hong Kong, Taiwan, Korea, Indonesia, Malaysia, Philippines, Singapore, Thailand, Vietnam, India, Sri Lanka, Pakistan, Australia, and Mauritius, and organizations from the United States, Germany and the United Kingdom have joined as affiliate members.



APOSHO35 Annual General Meeting in Hong Kong

Welcome Message from the APOSHO Secretary General



Bernie Doyle
Secretary General,
Asia Pacific Occupational Safety and Health Organization (APOSHO)

May I offer my sincere congratulations and those of the entire APOSHO membership to the Japan Industrial Safety and Health Association (JISHA) on being awarded the privilege of hosting the APOSHO Conference 35 in 2021. The planning to host the conference has been many years in the process for JISHA and it is very pleasing that their efforts have been justly rewarded. JISHA have been outstanding contributors to not only APOSHO but to the overall improvement of Health and Safety in the Asia Pacific region over many years to APOSHO and therefore being awarded the hosting of an APOSHO Conference is highly justified. JISHA will be aware that the standard of the APOSHO Conference has been steadily increasing over the past number of years and the expectation is that this improvement will continue with APOSHO35. On behalf of the APOSHO membership I wish JISHA great success in 2021.

Concept

- To disseminate information, conduct joint studies, and exchange ideas with the participation of safety and health organizations in Asian countries
- To access the latest safety and health information from Asian countries and regions
- To improve the level of occupational safety and health in the Asian region, participating countries and companies
- To ensure healthy lifestyles and promote the welfare of people of all ages
- To contribute to achieving the Sustainable Development Goals (SDGs)



Schedule

Date/Time	Program
Wed October 27 (Day 1)	APOSHO Opening Ceremony, Keynote Speeches, other (Simultaneous Interpretation)
Thu October 28 (Day 2)	Technical Session (Simultaneous Interpretation) (Presentations on occupational safety and health by speakers from Japan and overseas)

Recordings of the opening ceremony, keynote speeches and Technical session can be viewed on-demand for one month after APOSHO35 on this website.
Detailed schedule and registration information will be posted on the APOSHO website.

プログラム(日本語)

世界の最新の安全衛生情報にキャッチアップ アジア太平洋安全衛生大会 (APOSHO35) オンライン開催 (参加無料)

APOSHO 35
JAPAN

APOSHO35のプログラムをご紹介します。オンラインやオンデマンドによる視聴については、APOSHO35のウェブサイトより事前登録をして下さい(参加無料)。また開催期間中は、東京国際フォーラム内、サテライト会場を設けて大型スクリーンで視聴することができます(全労連安全衛生大会参加者以外の方は、当日、会場「建五郎」フォーラム・ホールD1にて受付が必要となります)。プログラムの内容及び発券情報は変更の可能性がありますので、詳細はAPOSHO35 (<https://www.aposh35.jp/>) のウェブサイトをご覧ください。

大会 1日目 10月27日(水) 13時00分～17時00分

13時00分～13時15分
アトラクション「日本の大衆芸能 日裏によるチンドンパフォーマンス」
唄を「チン」と唱えて、太鼓を「ドン」と叩くことから「チンドン」と呼ばれている日本の大衆芸能。チンドン芸能社代表の赤田久氏による、日裏のチンドンパフォーマンスをお楽しみ下さい。

13時15分～13時25分
開会挨拶
中央労働災害防止協会 アジア太平洋安全衛生機構 (APOSHO) 理事長 竹越 徹 パーニー・ドイル 氏

13時25分～13時45分
基調講演「日本の労働安全衛生行政の最近の動向」
厚生労働省労働基準局 厚生労働省労働基準局長

13時45分～14時15分
特別講演「日本の安全文化：現状と未来への展望」
「日本の安全文化とは何か？」あらためてその特徴や海外の安全文化との相違点についてもふれながら、安全文化の必要性や今後日本及び世界の安全文化がどのように変わっていくべきかお話をいただきます。

14時15分～14時45分
特別講演「ILOによるアジアにおける安全衛生の取組み」
成長著しいアジアを中心とした国々におけるILO(国際労働機関)の安全衛生分野の活動について、現場におけるコロナ対策も含めご紹介いたします。

14時45分～15時05分
特別発表「石巻市～東日本大震災の時とその後の復興(語り部)」
2011年3月11日に発生した日本周辺における観測史上最大の東日本大震災から本年は10年目を迎えます。当時、自ら宮城県石巻市で被災した英国出身のリチャード・ハルバーシュタットの語り部(英語)により、東日本大震災の時とその後の石巻市の復興についてお話をいただきます。自然災害の恐ろしさや危機管理の重要性について多くの方々に学んでいただきます。

15時15分～17時00分 技術発表(第一部)

国	演題	発表者
オーストラリア	COVID-19のチャートルーム向け - 非営利組織のメンタルヘルス問題に即応するから-	BuBuild Research and Interactive Training Services社 (オーストラリア) 代表取締役 Marjorie Hubbert 氏
香港	若者の安全意識の醸成に向けて	香港職業安全健康局 (HKOSHC) 専任理事 Bonnie Yau 氏

APOSHO 加盟団体プロモーション動画上映



新潟大学
工学部健康経営プログラム/
大学院健康科学研究所
社会システム工学専攻
社会システム工学コース
准教授
東瀬 剛 氏



ILO (国際労働機関)
東アジア・セントラル
アジアチーム労働安全衛生、
労働衛生上専門員
川上 剛 氏



石巻市復興まちづくり
復興交流センター
リチャード・
ハルバーシュタット氏

技術発表 (ゲストスピーカー) 10月28日(木)

13時30分～14時00分
聴く未来への8つのトレンド
安全衛生のリーダーが知っておくべきこと
アメリカ安全評議会 (NSC) フォーリーダーシップ部長
キャンベル・インスティテュート部長
John Dony 氏



16時45分～17時15分
あなたの職場の安全衛生は大丈夫?
- コロナ禍の安全衛生専門家の重要な役割 -
英国職業安全衛生協会 (IOSH) 理事長
James Quinn 氏



大会 2日目 10月28日(木) 13時00分～19時50分

13時00分～16時30分 技術発表(第二部)

国	演題	発表者
オーストラリア	住宅化学グループにおける取組の取り組み	住宅化学グループ スピリットグループ (保安・安全) 主席役員 永野 真一 氏
アメリカ	【ゲストプレゼンテーション】 聴く未来への8つのトレンドが 安全衛生のリーダーが知っておくべきこと	アメリカ安全評議会 (NSC) フォーリーダーシップ部長 キャンベル・インスティテュート部長 John Dony 氏
韓国	韓国職場におけるコロナ対策 - 労働安全衛生を重視する -	韓国職業安全健康協会 (KOSHA) マネージャー Yoon Jung Choi 氏
香港	トヨタ自動車での安全文化醸成と グローバル推進の取り組み	香港労働安全衛生協会 (IOSH HK) 専任理事 チャー・チン・ユン Andy LO 氏
中国	トヨタ自動車での安全文化醸成と グローバル推進の取り組み	トヨタ自動車 安全健康推進部 安全衛生推進員 安全1グループ長 石川 勉 氏
中国	化学工場でのメンタルヘルス問題 - OSHMS を導入した取り組み -	国立重慶師範大学 環境安全衛生学 教授 中国労働安全衛生協会 (CSA) 専任理事 Chimin Shu 氏
韓国	COVID-19を克服したメンタルヘルス問題 - OSHMS を導入した取り組み -	韓国COVID-19 健康センター 副理事 許尚 氏

16時45分～19時50分 技術発表(第三部)

国	演題	発表者
英国	【ゲストプレゼンテーション】 あなたの職場の安全衛生は大丈夫? - コロナ禍の安全衛生専門家の重要な役割 -	英国労働安全衛生協会 (IOSH) 理事長 James Quinn 氏
タイ	タイの中小企業に向けた持続可能な安全文化と レジリエンス	タイ労働安全衛生推進協会 (SHA/PAT) 理事長 Chaleemchai Chakditipom 氏, Dheera Phong-ana 氏
中国	ISO45001 を導入した日本独自 OSHMS 規格の紹介	中国労働安全衛生協会 安全衛生マネジメントシステム 専任コンサルタント 劉 雲 氏
マレーシア	「ドローン」建設現場における新たな現場管理ツール	国立労働安全衛生研究所 (NIOSH) (マレーシア) エグゼクティブ Mohamad Haniff Ali 氏
ベトナム	ベトナム半島における健康、 飲料水供給におけるシリアの影響の現状	ベトナム国立労働安全衛生研究所 (VNIOSH) リサーチャー Thanh Trung Nguyen 氏

オンデマンド配信 (大会期間中から1ヶ月程度) ※本大会期間中のプログラムと併せてオンデマンド配信しますが、下記の記事は要約のみにとなります。

国	演題	発表者
オーストラリア	安全文化における 「ROC Talk-2024」 Opportunity Conversations	APOSHO を主催 (オーストラリア) Jim Whitely 氏
マレーシア	マレーシアの製造業における 安全文化の現状と 改善に向けた取り組み	国立労働安全衛生研究所 (NIOSH) (マレーシア) エグゼクティブ Siti Faiza Yati Jamal 氏
中国	疫学における革新的な 安全健康データ分析の活用 - 安全衛生活動支援 -	香港労働安全衛生局 (HKOSHC) 専任コンサルタント Winson Young 氏
中国	健康とメンタルヘルス	Corporate Lingua 社 (ベトナム) 代表取締役 R.Baskan Nair 氏
オーストラリア	デスクワークと COVID (生活の質)	デスクワークと COVID (生活の質)
中国	ステイクホルダーの リーダーシップによる 健康安全パフォーマンス	多摩理工大 グローバル・アシスタント Yuk Ling Chung 氏
中国	大規模災害防止のための 安全文化の醸成 - 全体的な視座 -	国立労働安全衛生協会 (NIOSH) (マレーシア) MO Idris Salim 氏
アメリカ	【ゲストプレゼンテーション】 健康促進ツールとしての 安全衛生	アフリカ労働安全衛生財団 (AFLISA) 理事長 EMI Idem 氏

APOSHO35 日本語事務局 TEL: 03-3452-6297
事務局(東京)〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 日本橋本町1丁目1番1号 日本橋本町ビル5F
事務局(大阪)〒545-0051 大阪府大阪市東淀川区東淀川 1-1-1 東淀川ビル5F

ポスター(日本語・英語)

全ての人のための
持続可能な開発に向けた
安全衛生を考える。

APOSHO 35 JAPAN

Designing OSH
for sustainable development
for all

オンラインによる日本開催決定
**アジア太平洋安全衛生大会
APOSHO 35**
※国立労働安全衛生研究所

開催期間
令和3年 **10月27日(水) ~ 28日(木)**

第80回全国産業安全衛生大会(東京)
緑十字展2021と同時開催

開催方法 開催地の事前開催3日の詳細はAPOSHO35特設サイト
(<https://www.aposh35.jp/>)で確認してください。

オンライン視聴 開会式、総会講演、分科会等のライブ・オンデマンド視聴を予定

オンライン会場 東京国際フォーラム ホールD1 (仮定) 開催日程は9月17日(金)まで

参加費
無料 [要事前登録] (AOSHの会員登録をオンラインより一蹴参加)

問合せ先 APOSHO35 日本開催事務局(国研 支援課 研修部課)
TEL 03-3452-6297 E-mail aposh35@jisha.or.jp 主催 中央労働災害防止協会 **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

Designing OSH
for sustainable development
for all

APOSHO 35 JAPAN

**APOSHO35
ANNUAL CONFERENCE
OCTOBER 27-28, 2021**

Formats
Opening Ceremony, Plenary Session, Technical Session,
will be available online and on-demand
Details on the formats and advance registration will be
announced on the APOSHO35 website
<https://www.aposh35.jp/en>

Registration Fees
Free to participate
(excluding APOSHO members and advance registration required)

APOSHO35 Secretariat
Japan Industrial Safety & Health Association (JISHA)
TEL +81-3-3452-6297 E-mail aposh35@jisha.or.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

＜参考資料＞

APOSHO とは

APOSHO とは、「アジア太平洋労働安全衛生機構」、Asia Pacific Occupational Safety and Health Organization の略称です。APOSHO は、アジア太平洋地域における労働安全衛生活動を促進する非営利団体で構成された国際組織です。1985年8月に、第1回会議がシンガポールで開催されました。APOSHO 年次会議は、各国の団体の持ち回りで毎年開催されており、この度 2021 年に日本でオンライン開催される運びとなりました。日本による開催は、1989 年以来 32 年ぶりとなります。

APOSHO の目的

- ・アジア太平洋地域における労働安全衛生の意識と対策に関する分野の理解と協力を促進し、強化する。
- ・アジア太平洋地域における労働安全衛生の意識と対策に関する情報交換とネットワークづくりを促進する。

APOSHO 活動内容

APOSHO の会員は、原則として「アジア太平洋地域の非政府、非営利・公益の団体で、主な活動が労働安全衛生に関係している加入団体」を正会員としています。我が国では中央労働災害防止協会(中災防)が加入しています。アジア太平洋地域の政府機関の加入団体を準会員(Associate member)としています。それ以外の政府・非政府を問わず、アジア太平洋地域以外も含めた 加入団体に関係団体(Affiliate member)としています。ただし、このような規約が整備される前に加入していた団体もあり、かつ非政府の団体のない国(例えば社会主義国)もあって例外もあります。

過去と今後の APOSHO 大会開催状況

- 第 38 回 タイ(SHAWPAT) (2024 年 12 月)
- 第 37 回 マレーシア(MSOSH) (2023 年 8 月)
- 第 36 回 オーストラリア(NSCA Foundation) (2022 年 11 月)
- 第 35 回 日本(JISHA) (2021 年 10 月)
- (第 35 回 マレーシア(NIOSH 及び MOSHPA) (2020 年 8 月予定)開催は、新型コロナウイルスの流行により中止)
- 第 34 回 中国(貴陽)(COSHA) (2019 年 9 月)
- 第 33 回 香港(2018 年 12 月)
- 第 32 回 シンガポール(2017 年 9 月)世界労働安全衛生大会と近接開催

中間会議 タイ(2016年12月)* 中間会議は会議開催空白期間が1年以上あり、会員の賛同が得られた場合に特別に開催される。

第31回 インド(2016年4月)

第30回 韓国(2015年6月)

第29回 タイ(2014年7月)

第28回 インドネシア(2013年10月)

第27回 フィリピン(2012年9月)

第26回 オーストラリア(2011年11月)

第25回 モーリシャス(2010年4月)

(第25回フィリピン開催(2009年予定)は、新型インフルエンザが収束していないことを理由に中止)

第24回 韓国(2008年7月)世界労働安全衛生大会と近接開催

第23回 シンガポール(2007年11月)

第22回 タイ(2006年5月)

第21回 インドネシア(2005年9月)

第20回 中国(北京)(2004年9月)

第19回 マレーシア(2003年9月)

第18回 ベトナム(2002年10月)

第17回 台湾(2001年9月)

第16回 モーリシャス(2000年4月)

第15回 フィリピン(1999年10月)

第14回 韓国(1998年4月)

第13回 香港(1997年4月)

第12回 オーストラリア(1996年5月)

第11回 インド(1995年11月)

第10回 マレーシア(1994年9月)

第9回 インドネシア(1993年9月)

第8回 中国(西安)(1992年9月)

第7回 中国(北京)(1991年10月)

第6回 シンガポール(1990年12月)

第5回 日本(1989年9月)

第4回 日本(1988年9月)

第3回 オーストラリア(1987年9月)

第2回 香港(1986年9月)

第1回 シンガポール(1985年9月)

APOSHO 会員リスト及び活動内容(2021.05.26)

正会員

No.	団体名(仮訳)	団体英語名	略称及びリンク	主な活動内容
1	オーストラリア災害防止基金	Industrial Foundation for Accident Prevention (IFAP)	IFAP	安全衛生教育の実施、安全衛生コンサルテーション
2	オーストラリア全国安全評議会	National Safety Council of Australia Foundation (NSCA Foundation)	NSCA Foundation	安全衛生教育の実施、安全衛生情報の提供
3	中国安全生産協会	China Association of Work Safety (CAWS)	CAWS	安全生産調査研究、安全生産情報提供、安全文化の普及促進及び教育訓練、安全生産のコンサルティングサービス
4	中国職業安全健康協会	China Occupational Safety and Health Association (COSHA)	COSHA	安全衛生促進、安全衛生教育、安全衛生資格、安全衛生研究
5	中国中鋼集団武漢安全環保研究院	Sinosteel Wuhan Safety and Environmental Protection Research (SEPRI)	SEPRI	労働安全衛生環境研究
6	香港労働安全衛生協会	Institution of Occupational Safety and Health, Hong Kong (IOSH-HK)	IOSH-HK	安全衛生訓練、安全衛生教材、安全衛生研究
7	香港職業安全健康局	Hong Kong Occupational Safety and Health Council (HKOSHC)	HKOSHC	安全衛生教育、安全衛生コンサルタント、安全衛生広報、安全衛生情報提供
8	香港職業安全衛生協会	Hong Kong Occupational Safety and Health Association (HKOSHA)	HKOSHA	安全衛生専門家の支援、安全衛生コンサルタント、安全衛生指導、安全衛生広報誌
9	中華民国工業安全衛生協会	Chinese Taipei Industrial Safety and Health Association (ISHA)	ISHA	安全衛生教育、技術サービス、作業環境測定、安全衛生教材出版、ISO45001 認定
10	インド全国安全評議会	National Safety Council of India (NSCI)	NSCI	安全衛生コンサルタント、安全衛生教育
11	労働安全衛生能力認定研究所：インドネシア	Institute for Certification of Competencies on OSH (ICCOOSH)	ICCOOSH	安全衛生能力についての試験の実施と認定書の発行
12	インドネシア全国安全衛生評議会	National Safety and Health Council of Indonesia (NSHCI)	NSHCI (DK3N)	安全衛生教育、安全衛生意識の高揚
13	中央労働災害防止協会：日本	Japan Industrial Safety and Health Association (JISHA)	JISHA	安全衛生教育、安全衛生技術提供、安全衛生情報提供、安全衛生意識の高揚、作業環境測定
14	韓国産業安全保健公団	Korea Occupational Safety & Health Agency (KOSHA)	KOSHA	業種別災害防止計画、安全検査、機械安全認証、OHSAS18000 認証、安全意識高揚、調査研究
15	韓国産業安全協会	Korea Industrial Safety Association (KISA)	KISA	安全衛生教育、安全衛生技術提供、安全衛生診断、安全点検、建設災害防止技術指導
16	マレーシア労働安全衛生協会	Malaysian Society for Occupational Safety & Health (MSOSH)	MSOSH	安全衛生教育、安全衛生情報提供、安全衛生表彰
17	国立労働安全衛生研究所：マレーシア	National Institute of Occupational Safety & Health (NIOSH)	NIOSH	安全衛生調査研究、安全衛生情報提供
18	マレーシア労働安全衛生専門家協会	Malaysian Occupational Safety and Health Practitioners Association (MOSHPA)	MOSHPA	安全衛生専門家の支援、安全衛生情報提供、安全衛生意識高揚
19	労働安全衛生マネジメント協会：モーリシャス	Institution of Occupational Safety and Health Management (IOSHM)	IOSHM	労働安全衛生の促進、安全衛生教育、安全衛生のネットワークの構築
20	パキスタン安全協会	Pakistan Safety Council (PSC)	PSC	安全衛生教育、安全衛生改善指導
21	フィリピン安全管理者協会	Association of Safety Practitioners of the Philippines, Inc. (ASPPPI)	ASPPPI	安全衛生専門家の支援、認定、安全衛生意識高揚
22	フィリピン職場安全推進協会	Workplace Advocates on Safety in the Philippines, Inc. (WASPI)	WASPI	安全衛生大会、安全衛生表彰
23	フィリピン安全協会	Safety Organisation of the Philippines, Inc. (SOPI)	SOPI	労働災害防止、労働災害保険、安全衛生教育
24	シンガポール全国安全評議会	National Safety Council of Singapore (NSCS)	NSCS	安全衛生教育、安全衛生用品販売

No.	団体名(仮訳)	団体英語名	略称及びリンク	主な活動内容
25	シンガポール安全管理者協会	Singapore Institution of Safety Officers (SISO)	SISO	安全衛生専門家の支援、安全衛生教育
26	スリランカ労働安全衛生協会	Workplace Safety and Health Association, Sri Lanka (WSHA)	WSHA	安全衛生専門家の基準策定、認定
27	タイ職場安全衛生推進協会	The Safety and Health at Work Promotion Association (SHAWPAT)	SHAWPAT	安全衛生教育、作業環境測定、安全衛生用品販売、安全衛生意識の高揚
28	ベトナム労働安全衛生協会	Vietnam Occupational Safety and Health Association (VOSHA)	VOSHA	安全衛生のネットワークの構築、安全衛生教育
29	ベトナム国立労働安全衛生研究所	Viet Nam National Institute of Occupational Safety and Health (VNNIOSH)	VNNIOSH	安全衛生調査研究、安全衛生教育、作業環境測定

準会員

No.	団体名(仮訳)	団体英語名	略称及びリンク	主な活動内容
1	ブルネイ開発省建設庁	Authority for Building Control and Construction Industry (ABCI)	ABCI	ブルネイ開発省建設庁(公官庁)、建設安全行政
2	マカオ労働局	Labour Affairs Bureau (LAB)	LAB	マカオ労働局(公官庁)、労働安全衛生行政

関係団体

No.	団体名(仮訳)	団体英語名	略称及びリンク	主な活動内容
1	ドイツ法定災害保険	Germany Social Accident Insurance (DGUV)	DGUV	安全衛生教育、労働災害保険、労災医療、安全衛生調査研究
2	労働安全衛生作業環境協会: インドネシア	Society for Occupational Safety & Health and Work Environment (Indonesia)	SOSHWE	作業環境測定
3	安全衛生環境マネジメント研究所: モーリシャス	Institute of Safety Health and Environment Management (ISHM)	ISHM	安全衛生環境マネジメント
4	労働安全衛生協会: イギリス	The Institution of Occupational Safety & Health (IOSH)	IOSH	安全衛生専門家の支援、安全衛生教育
5	アメリカ安全評議会	National Safety Council of America (NSC)	NSC	安全衛生教育、安全衛生雑誌発行
6	認定安全専門家評議会: アメリカ	Board of Certified Safety Professionals (BCSP)	BCSP	安全衛生専門家の支援、認定、安全衛生教育
7	世界安全機構: アメリカ	World Safety Organization (WSO)	WSO	安全衛生専門家の支援、認定
8	アメリカ安全技術者協会	The American Society of Safety Professionals (ASSP) (旧 ASSE)	ASSP	安全衛生専門家の支援、安全衛生